



内服薬

抗アレルギー剤

気管支喘息では、上の2行はほとんど使用されなくなりました。

- ・ヒスタミン拮抗作用なし ①リザベン ②アレギサル
- ・ヒスタミン拮抗作用あり ①ザジテン ②アゼブチン ③セルテクト ④ゼスラン
- ・ロイコトリエン拮抗剤 ①オノン ②シングレア(1日1回)
- ・サイトカイン抑制剤 ①アイピーディ

気管支拡張剤

1. 刺激剤

効きは早く(テープは除く),発作の時には便利だが、依存や過剰使用に注意

- ①ベネトリン シロップ・錠
- ②ブリカニール 錠
- ③ホクナリン ドライシロップ・テープ
- ④メプチン シロップ・粒・錠・ミニ錠
- ⑤スピロベント 錠・粒

*ホクナリンテープは、効き始めるには2~4時間かかりますが、24時間効きます。1日1回貼り替えると1日中効きます。長期に使用する必要がある場合は、原則としてステロイドの併用が必要です。

2. キサンチン系気管支拡張剤(テオフィリン製剤)

原則として他の薬剤が無効の時に投薬を検討します。6ヶ月未満児やけいれんの既往のある2歳未満児は原則として使用しません。発熱時には副作用が出やすくなります。処方を受けるときには、発熱時の投薬をどうするかを前もって指示を受けてください。

- ①アルピナ 坐剤(50, 100, 200, 400mg) 即効性がありますが、効かなくなるのも早い。
- ②テオドール 錠(50, 100, 200mg)・ドライシロップ
- ③テオロング 錠(50, 100, 200mg)・粒
- ④スロービット カプセル(100mg, 200mg)・ドライシロップ
- ⑤ユニフィル 錠(200mg, 400mg) 1日1回

ゆっくり効き始め、12時間効く。12時間ごとにのむと1日中効いている。ただし100%の効果が出るのは続けてのんで3日目。

去痰剤(タン切り剤)

- ①ムコダイン 細粒・ドライシロップ・シロップ・錠
- ②ムコソルバン・ムコサール ドライシロップ・小児用ドライシロップ・シロップ・錠

ステロイド剤

原則として使用しません。重症例には短期間使用することがあります

- ①プレドニン 錠(5mg)
- ②リンデロン 錠・シロップ

漢方

- ①柴朴湯 ②柴胡湯 ③小青竜湯 など

吸入薬

抗アレルギー剤

- ①インタール 定量噴霧器・吸入液(1本=2ml)・吸入用カプセル

気管支拡張剤(β刺激剤)

効くのが最も速い!!!

小児用の専用の定量噴霧器があるのはメプチンだけ

- ・吸入液 ①ベネトリン ②メプチン
- ・定量噴霧式 ①メプチン エア、キッドエア ②サルタノール ③ペロテック
- ・長時間作用型吸入β2刺激薬 ①セレベント □タディスク・ディスク(効くのはゆっくり)

刺激剤の吸入は使用すると喘息発作は一時的に楽になりますが、これを多用し基本的な治療を忘れている人に喘息死が多いといわれています

抗コリン剤

- ①アトロベント 定量噴霧器

ステロイド剤

軽症持続型あるいは中等症持続型以上に使用します。

- ①フルタイド エア・ロタディスク・ディスク(50, 100, 200)
- ②キュバル エアゾル(50, 100, 200)
- ③パルミコート 吸入液(0.25mg, 0.5mg)

5才以上の小児・成人にも使用できるようになりました。

ステロイド剤と長時間作用型気管支拡張剤の合剤

- ①アドエア (フルタイド+セレベント) ディスカス(100, 250, 500)、エア(50, 125, 250)
- ②シムビコート (パルミコート+ホルモテロール(効果発現も速い)) 小児には未適応

参考 ◎アレルギー性鼻炎には

- ・抗アレルギー剤 ザジテン点鼻薬 インタール点鼻液 リボスチン点鼻液
- ・血管収縮剤 ナーベル点鼻薬 プリピナ点鼻液 トーク点鼻薬
- ・ステロイド アルデシンAQ[®]-ザル フルナーゼ点鼻液 リノコート
- ・漢方 小青竜湯

◎アレルギー性結膜炎には

- ・抗アレルギー剤 インタール点眼液 ザジテン点眼液 リボスチン点眼薬
- ・ステロイド フルメトロン点眼薬 リンデロン液

☆内服の抗アレルギー剤は、アトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎の場合にも処方することがあります。

☆β刺激剤と去痰剤は、咳のかぜにも処方することがあります。

☆内服のβ刺激剤の1つとキサンチン系気管支拡張剤の1つを併用することはありますが、各々の群の中で薬を重複して服用することは原則として避けます。

☆テオフィリンには併用してはいけない薬や減量する必要のある薬があります。

☆年少児や重症例には電動ネブライザ(当院がおすすめているものは1万~2.5万円)を購入していただき、家庭での吸入をおすすめする事もあります。

☆定量噴霧器は補助具(エアロチャンバー(小児用:1個2,500円)など)の使用がおすすです。

☆漢方薬品にも、副作用の報告があります。とくに「甘草(カンゾウ)」を含む漢方を長期連用する場合は検査が必要です。